

## 人工知能×アダプティブ・ラーニング！クラウド型学習システム「すらら」 スリランカ国営企業主導プロジェクトの施設で Surala Ninja!の導入開始 ～バラングダ校で12月5日(月)より開講～

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦、以下すららネット）は、スリランカにて小学生向け算数 e ラーニングシステム「Surala Ninja!」の提供、および、運用支援を行なっています。この度、スリランカ国営企業主導の e-Sri Lanka イニシアチブの実現を目的としたネナサラ (Nenasala) プロジェクトの施設のうち、バラングダ (Balangoda) 校で「Surala Ninja!」を活用した講座が12月5日(月)より開講します。

スリランカの国営企業である ICTA (Information and Communication Technology Agency) of Sri Lanka が2003年に設立され、ICTA 主導のもとで『多様で無制限の情報源とコミュニケーション手段へのアクセス』をすべての市民に提供すること」を骨子とした e-Sri Lanka イニシアチブが2004年に策定されました。この理念を実現するため、ネナサラプロジェクトが立ち上がり、ネナサラプロジェクトの地域の旗艦センターとしての「知識センター (起業・商業モデル)」、農村部から電子情報にアクセスするための「電子図書館センター (コミュニティーモデル)」、僻地もしくは遠隔地からの学習をサポートする「遠隔地 e-ラーニングセンター」の3種類に加え、2004年のスマトラ沖地震における被害者をサポートするための「津波キャンプ Nenasala」の計4種類のモデルが開発されています。

現在、ネナサラプロジェクトの施設はスリランカ全土で750を超えており、全土で1000施設以上を目標としています。

この度、スリランカ南西部に位置する都市のバラングダにあるネナサラプロジェクトの施設で、「Surala Ninja!」が導入され、12月5日(月)より新たな講座が開講されます。

バラングダの施設のオーナーがスリランカの大都市コロンボにある「Surala JUKU」を見学し、可能性を感じられたこと、および、「Surala JUKU」の「スリランカの子供たちの将来の可能性を、数学力を強化することで広げていく」という理念に共感されたことから、今回の導入に至りました。

これまででも、バラングダの施設は単に技術だけを学ぶ場ではなく、学生の人生を豊かにする自己研鑽の場となる教育を目指しており、「Surala JUKU」の「規律性、自立学習」を身に着ける、「日本流」のしつけを行う講座を開講予定です。

開講に先駆けて行われた説明会では、150名を超す地元の保護者が参加し、申し込み生徒数は既に100名を超えています。

すららネットでは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を」を理念としており、国内のみではなく、世界に向け、今後も品質の良い教育を低価格で提供することで社会の問題を解決していきたいと考えています。 s

### ※「Surala JUKU」

Grade1 から Grade4 (日本の幼稚園年長～小学3年生相当) の児童を対象とし、シンハラ語版にカスタマイズしたクラウド型学習システム「Surala Ninja!」を用いて日本の算数技能を学ぶことができ、同時にパソコンの使い方が身につくこと、日本流の「しつけ」(規律や自立学習)も教えることなどが生徒や保護者より高評価を受けています。



▲Surala Ninja!で学習する子ども  
(コロンボにある Surala JUKU)

## ■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校 3 年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学（算数）・国語

【利用者数】 約 34,000 名（2016 年 6 月末現在）

【特徴】

### ○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1 つの単元は 10 から 15 分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

### ○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

### ○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月 1 回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週 1 回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでの e ラーニング教材の大半は以下の 3 パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ  
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でない、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ  
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でない、一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ  
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



## ■「すらら」の“アダプティブ・ラーニング”機能

生徒の解答結果から独自のアルゴリズムにより苦手部分を分析・特定し、生徒それぞれに最適化した学習すべき解説や問題を自動で提示する機能。学習者が苦手分野を自分で克服できるようにする。

## ■「すらら」における“人工知能”

AI が生徒の学習データに基づき先生の替わりに生徒と対話を行う機能「AI サポーター」を搭載し、生徒のモチベーションに与える効果について慶応義塾大学 中室牧子研究室と共同研究を実施中。

### ■ 株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008 年 8 月 ○ 資本金：13,795 万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>
- 受賞歴：
  - ・ 第 9 回日本 e-Learning 大賞 文部科学大臣賞(2012 年)
  - ・ Japan Venture Awards 2014 中小機構理事長賞(2014 年)
  - ・ 第 2 回「日本ベンチャー大賞」社会課題解決賞（審査委員会特別賞）（2016 年）
  - ・ 第 8 回「千代田ビジネス大賞」大賞(2016 年)